

令和 7 年 3 月 定例会一般質問

通告 5

質問 子育て世帯の負担軽減に向けたリユーススペースの設置を

答弁 実施に向けて早急に体制の整備を進めてまいります

5 番 ひらやま ひろみ 平山 光生 議員

【質問：平山 光生 議員】

5 番、平山光生です。子育て世帯の負担軽減に向けたリユーススペースの設置をについて質問させていただきます。

近年の物価高騰により、子育て世帯の家計負担も増加している状況です。特にゼロ歳から 1 歳までの赤ちゃんに必要な衣類や育児用品は期間限定となってしまうものも多く、安い時期に購入しても季節が合わず使用出来ないこともあります。

その結果、必要なものを都度買い足すことになり、家計の負担がさらに増すという問題が生じています。また、子供が成長するにつれて使わなくなったベビー用品や衣類が家庭に残る一方で、それを必要とする家庭も多くあります。

そこで出生届を提出する役場や離乳食教室等が行われる保健センター、サークルの活動の場となる子育て支援センターみらいるなどの公共施設に、不要となったベビー用品や衣類を譲り合えるリユーススペースを設置してはいかがでしょうか。

子育て世帯同士の交流から地域の支え合いが生まれ、本町の子育て支援事業をさらに活性化することができる取組となるばかりではなく、廃棄物の削減にもつながるなど、新たな予算を大きくかけずに実施できる可能性があります。設置について町長の見解を伺います。

【答弁：町長】

平山議員御質問の子育て世帯の負担軽減に向けたリユーススペースの設置をについて御答弁申し上げます。

子育て世帯の不要となった児童の衣類や育児用品などは、友人、知人への譲渡や廃棄を



していることが想定されますが、議員の御指摘のとおり、近年の物価高騰などにより、新たな衣類などを購入しづらい家庭もあり、不要となった家庭からの譲渡はリユースの観点からも有効な手法と考えており、実施に向けて早急に体制の整備をしていきたいと考えております。みらいるを含む各児童館は、子育て支援センターとして位置づけており、子育て親子の交流の場となっていることから、その場所を最大限活用し、譲渡スペースの設置及び子育て親子などへの周知を行ってまいります。

また、各児童館では自主的に活動を行う子育てサークルが組織されておりまして、現在44組の親子が活動していることから、譲渡場所を各児童館とすることで子育てサークルの拡大につながり、子育て親子の支援になると考えております。不要物の収集や情報提供等につきましては、役場や保健センターとも連携を取りながら進めてまいりますので、御理解を賜りますようお願いいたします。以上です。

【質問：平山 光生 議員】

5番、平山光生です。再質問させていただきます。

譲渡場所を各児童館として早急に整備を行い、不要物の収集や情報提供等については、役場や保健センターも連携を図っていただけるということですが、情報提供の手段について伺います。

初めての妊娠が一番喜びとともに不安な気持ちも生まれます。しかし、生まれる前に子育て支援センター等の児童館に足を運ぶことは少々ハードルが高く感じる人も多く、きっかけを見つけにくい状況があります。

そんな時にこのリユーススペースに足を運ぶことができれば、会話によって妊娠時の不安を話すことも出来ますし、出産後も通いやすく、切れ目のない支援につながると思います。

妊娠時から情報収集が行えるよう、保健センターはもちろん、産婦人科などの待合室や役場にはポスター等の掲示、そして妊娠時に必ず渡す書類に情報の記載をしていただくということは可能でしょうか。町長の見解を伺います。

【答弁：町長】

再質問にお答え申し上げます。子育て支援に係る部分に関しましては、子供が生まれてからというよりは、その以前にしっかりと体制整備することが非常に重要であると思っておりますので、よりスムーズにいけるような体制づくりに努めてまいりたいと考えております。以上です。